

# 平成27年(2015年)2月の結果 (二人以上の世帯)

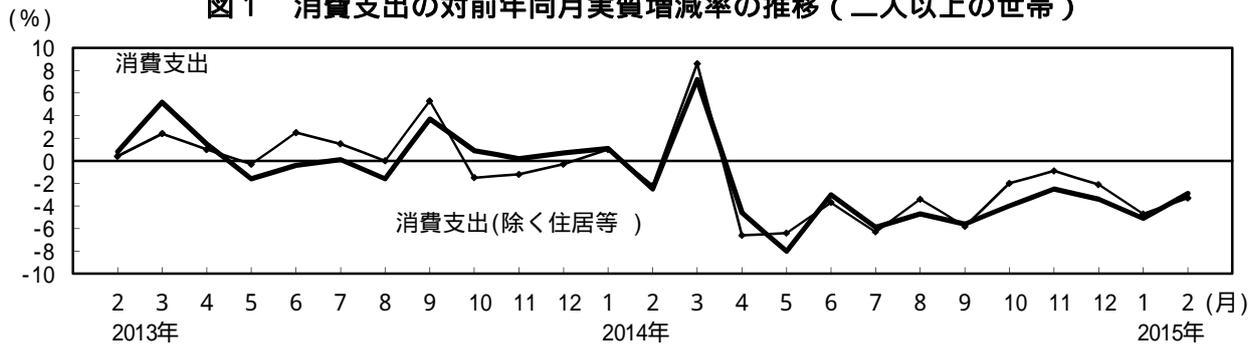
## 二人以上の世帯

・消費支出は、	1世帯当たり 265,632 円		
前年同月比	実質 2.9%の減少	前月比(季節調整値)	実質 0.8%の増加
	名目 0.4%の減少		
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 229,152 円		
前年同月比	実質 3.3%の減少	前月比(季節調整値)	実質 1.4%の減少
	名目 0.8%の減少		
・勤労者世帯の実収入は、	1世帯当たり 488,519 円		
前年同月比	実質 0.7%の減少		
	名目 1.9%の増加		

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

## 1 消費支出の推移

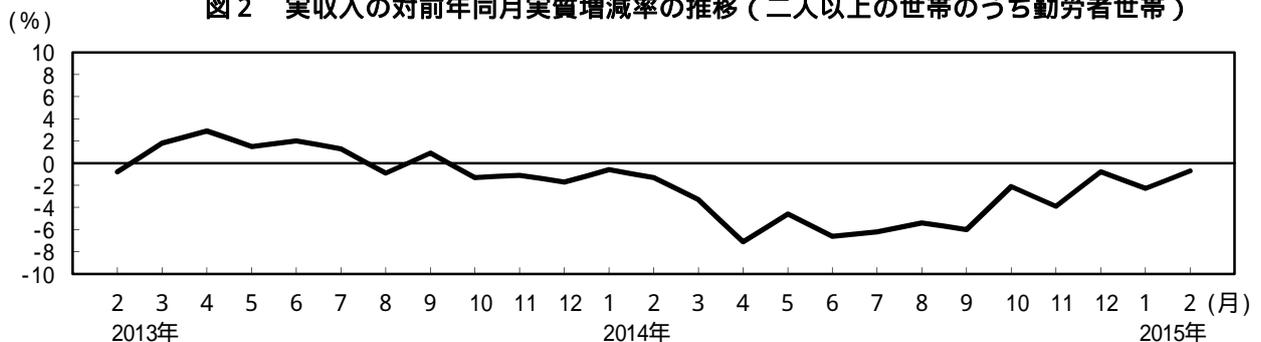
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2014年												2015年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
消費支出	-2.5	7.2	-4.6	-8.0	-3.0	-5.9	-4.7	-5.6	-4.0	-2.5	-3.4	-5.1	-2.9	
消費支出(除く住居等)	-2.2	8.6	-6.6	-6.4	-3.7	-6.3	-3.4	-5.8	-2.0	-0.9	-2.1	-4.7	-3.3	

## 2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2014年												2015年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
実収入	-1.3	-3.3	-7.1	-4.6	-6.6	-6.2	-5.4	-6.0	-2.1	-3.9	-0.8	-2.3	-0.7	
可処分所得	-1.3	-3.2	-7.0	-3.4	-8.0	-5.2	-5.2	-5.9	-2.4	-3.9	-0.3	-2.5	-0.5	
消費支出	-3.2	7.5	-6.9	-8.8	-4.5	-3.6	-6.0	-7.3	-3.4	-1.2	-3.0	-4.3	-3.6	
平均消費性向*	-1.6	10.6	0.1	-5.4	1.9	1.2	-0.6	-1.4	-0.8	2.4	-1.3	-1.6	-2.3	

\*: 対前年同月ポイント差

### 3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2015年2月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	265,632	-0.4	-2.9	-		11か月連続の実質減少
食料	65,046	3.5	-0.6	-0.13	<減少> 魚介類,野菜・海藻など	3か月連続の実質減少
住居	15,230	-5.8	-7.4	-0.45	<減少> 設備修繕・維持	2か月連続の実質減少
光熱・水道	31,846	1.2	-2.2	-0.27	<減少> 電気代,ガス代など	11か月連続の実質減少
家具・家事用品	8,285	-17.6	-18.9	-0.71	<減少> 家庭用耐久財,寝具類など	11か月連続の実質減少
被服及び履物	8,788	4.8	1.3	0.04	<増加> 洋服,シャツ・セーター類など	6か月ぶりの実質増加
保健医療	11,998	-4.7	-6.4	-0.30	<減少> 保健医療用品・器具,保健医療サービスなど	5か月ぶりの実質減少
交通・通信	39,687	0.6	1.0	0.15	<増加> 通信,自動車等関係費など	3か月ぶりの実質増加
教育	9,386	-8.2	-10.2	-0.39	<減少> 授業料等,補習教育など	4か月ぶりの実質減少
教養娯楽	24,233	2.8	-0.7	-0.06	<減少> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽用品など	11か月連続の実質減少
その他の消費支出	51,133	-1.4	(-3.9)	(-0.76)	<減少> 諸雑費,こづかい	16か月連続の実質減少
消費支出 (除く住居等)	229,152	-0.8	-3.3	-		11か月連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

#### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

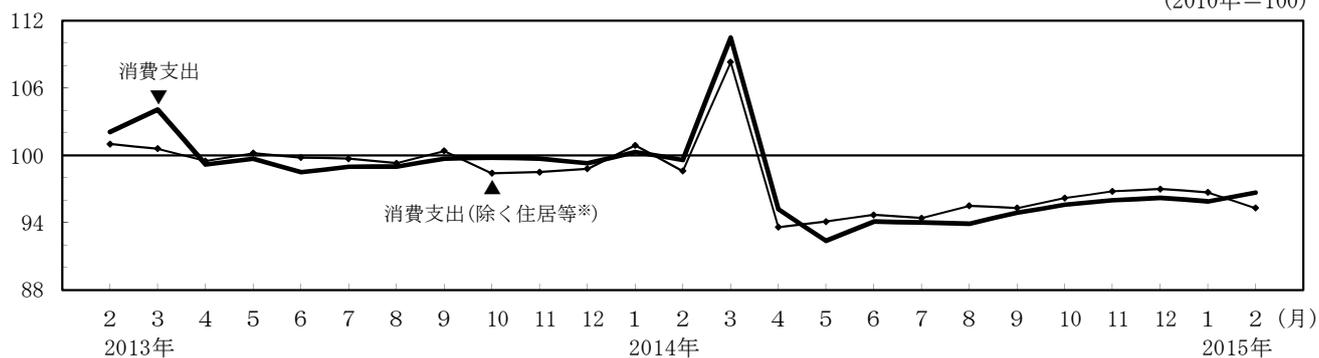
中分類	実質寄与度		品目
<減少項目>			
諸雑費	[-0.89]	.....	婚礼関係費,葬儀関係費
家庭用耐久財	[-0.54]	.....	電気冷蔵庫,電気洗濯機
設備修繕・維持	[-0.52]	.....	設備器具,給排水関係工事費
授業料等	[-0.31]	.....	私立高校,私立大学
保健医療用品・器具	[-0.19]	.....	眼鏡
教養娯楽用耐久財	[-0.17]	.....	パーソナルコンピュータ,書斎・学習用机・椅子
寝具類	[-0.13]	.....	布団,ベッド
保健医療サービス	[-0.13]	.....	歯科診療代,内科診療代
<増加項目>			
交際費	[0.36]	.....	贈与金
教養娯楽サービス	[0.19]	.....	外国パック旅行費,遊園地入場・乗物代
通信	[0.12]	.....	移動電話通信料,移動電話

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

(2010年=100)



	2014年												2015年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
消費支出	99.6	110.5	95.2	92.4	94.1	94.0	93.9	94.9	95.6	96.0	96.2	95.9	96.7	
対前月変化率(%)	-0.7	10.9	-13.8	-2.9	1.8	-0.1	-0.1	1.1	0.7	0.4	0.2	-0.3	0.8	
消費支出(除く住居等※)	98.6	108.3	93.6	94.1	94.7	94.4	95.5	95.3	96.2	96.8	97.0	96.7	95.3	
対前月変化率(%)	-2.3	9.8	-13.6	0.5	0.6	-0.3	1.2	-0.2	0.9	0.6	0.2	-0.3	-1.4	

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

## 4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2015年2月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備考
		名目	実質		
実収入	488,519	1.9	-0.7	—	17か月連続の実質減少
世帯主収入	353,508	-0.1	-2.6	-1.93	12か月連続の実質減少
定期収入	350,042	0.0	-2.5	-1.86	13か月連続の実質減少
配偶者の収入	53,447	-1.7	-4.2	-0.48	3か月ぶりの実質減少
他の世帯員収入	8,419	6.1	3.4	0.06	2か月ぶりの実質増加
非消費支出	81,719	0.9	—	—	2か月連続の増加
可処分所得	406,800	2.1	-0.5	—	19か月連続の実質減少
消費支出	291,387	-1.1	-3.6	—	11か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	71.6	(前年同月) (ポイント差) 73.9 -2.3			季節調整値で見ると、72.9%で、前月に比べ、1.7ポイントの低下となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。